

# バリアフリー推進パートナーとの官民連携事業 《令和元年度》

## ◎「まち歩き点検」を実施しました！



令和元年10月10日、福島駅周辺の広場や歩道などの公共施設を、障がいのある人とない人が一緒に歩いて点検する「まち歩き総点検」を実施しました。当日は53人が参加し、3班に分かれて危険な箇所、不便な点について実際に歩きながら確認しました。

点検の結果を踏まえ、バリアフリー化が必要な施設等における対策を進めてまいります。

### 【連携・協力】

東日本旅客鉄道(株)、福島交通(株)、阿武隈急行(株)、ジェイアールバス東北(株)、歩行訓練と日常生活訓練を願う当事者の会、福島市視覚障がい者福祉協会、福島市聴覚障害者協会、福島県障がい者スポーツ協会、福島自閉症児者親の会、手をつなぐ親の会、NPO法人ILセンター、手引きサークル「歩み」

次のページへつづく⇒

## ◎福島交通株式会社様

～路線バス、飯坂電車にもヘルプマークステッカーを～



令和元年11月22日、福島市バリアフリー推進パートナーである福島交通(株)との連携事業として、路線バス、飯坂電車の優先席付近にヘルプマークステッカーを貼りました。

市民の皆様にはヘルプマークの趣旨をご理解いただき、ヘルプマークステッカーが貼られた優先席では席を譲るなど思いやりのある行動をお願いします。

【連携・協力】福島交通(株)、福島市聴覚障害者協会、福島腎臓病患者友の会

## ◎福島信陵ライオンズクラブ様

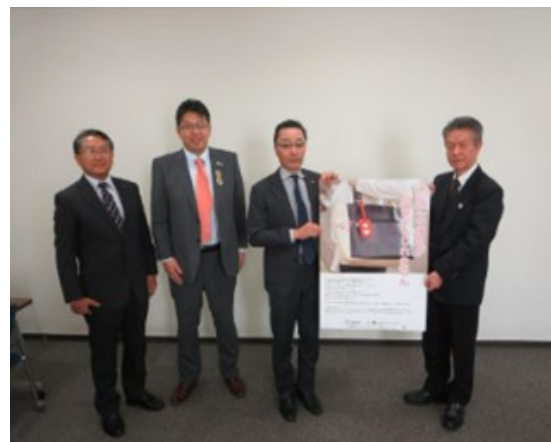
～ヘルプマーク普及啓発ポスターの配布～



ヘルプマークは義足や人工関節を使用している方、内臓障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としていることを知らせることができるマークです。  
このマークを身につけている方を見かけたら、電車やバスで席を譲る、困っているようであれば声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。

ヘルプマークは、福島市役所障がい福祉課、各支所・出張所、保健福祉センターで配布しています。

福島市では東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が持つ共生社会の理念に共鳴し、バリアフリー推進パートナーと共にハード・ソフト両面のバリアフリー化を推進し、「誰にでもやさしいまち みくしま」の実現に向けた行動をレガシーとして次世代へつないでいくバリアフリー推進パッケージに取り組みしております。



令和元年12月19日、バリアフリー推進パートナーにご登録いただいている福島信陵ライオンズクラブ様よりヘルプマーク普及啓発ポスターを寄付いただき、市内の公共施設、小中学校等に配布しました。

今後も官民一体となったバリアフリー化の推進に取り組めます。